

博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
申請大学名	大阪大学	申請大学長名	平野俊夫
申請類型	複合領域型（物質）	プログラム責任者名	岡村康行
整理番号	J02	プログラムコーディネーター名	木村剛
プログラム名	インタラクティブ物質科学・カデットプログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムでは、プログラム履修生を物質科学研究・事業における幹部候補生(Materials Science Cadet)と位置付け、様々な領域・手法を専門とするプログラム担当者が協働し、今後も我が国の国際（産業）競争力の根幹である物質科学研究・事業の将来に中核的な役割を担う人材を産学官といった幅広いセクターに輩出することを目指す。今現在クローズアップされている物質科学に関連する個々の課題を念頭に置きながらも、そのみに捉われることなく、プログラム修了生が実際にリーダーとなって活躍が期待される10-20年後にどのような課題が待ち受けていようと柔軟に対応し、それを自ら持つ能力を駆使して解決でき、または早い時期から将来どのようなことが課題となるかを見極め、既存の考え方・手法に捉われることなく自らのスタイルで新たな物質科学研究・事業のトレンドを生み出せるような人材を養成することを目的とする。

本プログラムではさらに、物質科学の幅広い研究領域から参画するプログラム担当者・履修生のインタラクティブな横のつながりを強化していくことにより大学院教育の新たな方向性を提示し、大学院改革の一步とする。

2. プログラムの進捗状況

- (a) 大阪大学未来戦略機構第三部門として組織を立ち上げ、プログラム運営を行っている。また、部門（プログラム）に関する規則の制定を行った。
- (b) 学習教育環境の整備、プログラム規程の制定、プログラム特別科目の設定、シラバスの作成、問題集作成など教育プログラムの開発を実施した。
- (c) 学内関連部署、他リーディングプログラムとの意見交換、調整を実施し、本プログラムの運営に反映した。
- (d) 本プログラム実施のため、特任准教授1名、事務職員4名を雇用し、さらにH25年度採用の特任教授1名、特任准教授1名、特任助教2名の人事選考を行い、運営支援体制を整備した。
- (e) 教育支援業務として学生の学習状況を把握し、成績・報告活動などを統一的に管理するための支援システム（Webベースのデータベースシステム）を構築した。
- (f) 教育プログラムの開発や科目担当にかかわる教職員を海外の大学等教育研究機関へ派遣し、大学院教育プログラムの調査、海外研修先の開拓等を行った。
また、国内で連携先機関などの協力機関に担当教員を派遣、さらに連携に係るシンポジウムの開催などをとおして、プログラム運営上の調整や調査を実施した。
- (g) 優秀な履修生の獲得のため、学生への広報活動（HP開設、パンフレット配布、ポスター掲示、広報誌発行、説明会の開催、担当教員による講演会の開催等）を行った。
- (h) アドミッションポリシー、募集要項を作成し、履修生の募集と選抜試験（書類および面接審査）を実施、24名の履修生を選抜した。